

パラリンピックより

コロナ対策に全力を！

新型コロナウイルスの感染爆発が全国で広がり、新規感染数者の増加が止まりません。入院できず自宅療養を迫られる人が急増し、自宅で亡くなるなど医療崩壊が進んでいます。8月19日共産党志位委員長は菅首相に、下記の「コロナから命を守る3つの緊急提言」を行いました。

- (1) 重症者以外「原則自宅療養」を撤回し、臨時の医療施設の増設などを大規模に確保し、全ての患者に必要な医療を提供すること。
- (2) 感染伝播を断つ大規模検査を国の主導で実施すること。ワクチン接種と検査の拡大をセットで進めることが必要不可欠です。
- (3) パラリンピックを中止し、命を守る対策に全力を集中すること。臨時国会を直ちに開き対策を検討し、実施に移すこと。



秋の総選挙 政権交代で命を守る政治を！

○小選挙区（長野県第2区）は野党統一候補

○比例代表は 日本共産党へ

藤野やすふみ衆議員議員を三度国会へ

《比例北陸信越ブロック 藤野衆議院議員の活躍》

○予算委員会でコロナ禍の現場の声、シフト制非正規労働者※にも休業補償を強く要求。質問をきっかけに休業補償が実現しました。

○原発の論戦数は国会議員トップ。原発ゼロ基本法案実現へ全力で奮闘。

○検察庁法改正案、入管法改正案、2年連続廃案に追い込む。野党共闘に不可欠の議席です。

※ シフト制非正規労働者は曜日や時間を自分で選べる「自由」な働き方ができる非正規労働者ということで休業補償がされていませんでした。

「あづみ野池田いきいき食育条例(案)」のポイント

町議会食育推進特別委員会はお子さんからお年寄りまでが元気な「食育のまちづくり」を実現しようと、9月議会での食育条例制定に向け取り組んでいます。条例案のポイントをお知らせします。

《町の健康課題と条例での解決方向》

○町の健康診断の結果では、子どもから大人まで肥満傾向（BMIが高い）がみられます。特に40歳代のBMIは男女とも全国1位と言われている沖縄県を超えました。

○糖尿病への対策を示すと言われている血液性値の値 HbA1c（ヘモグロビンエーワンC）も子どもから高齢者まで高く、脳血管疾患や高血圧症の治療割合が長野県平均よりも高い状況です。

◎条例(案)では、町の健康課題を解決するために米（ごはん）などを中心に汁物、主菜（魚、肉など）、副菜（野菜、海藻など）、牛乳・乳製品、果物などの多様な副食を組み合わせた栄養バランスの優れた「日本型食生活」の普及を進めます。東北大学都築教授の人試験により、「日本型食生活」が肥満、動脈硬化、糖尿病などに予防効果ありと実証されています。国も第4次食育推進計画でも「日本型食生活」を推奨しています。

《食育条例の目指すもの》

○町の食文化を継承・発展させ、米など農産物の地産地消を推進し、食品ロスの削減を目指します。

表 BMI（体格指数）25以上（肥満）の割合

	男性		女性	
	40～64歳	65～74歳	40～64歳	65～74歳
H28年度池田町	32.2%※	24.4%	21.4%	21.4%
R1年度池田町	48.5%※	26.6%	26%※	22.9%
R1年度長野県	30.1%		20.0%	
R1池田町	40～49歳	54.8%※	40～49歳	29.7%※

注：※は県平均よりも高いことを示す。

表 HbA1c 5.6以上（糖尿病への対策が必要）の割合

			R1 6月 町広報		
男性			女性		
小5・中2	20～39歳	40～74歳	小5・中2	20～39歳	40～74歳
29%※	13%	63%※	23%※	6%	63%※

表 脳血管疾患の治療割合（R1年度）

	40～64歳	65～74歳	75歳以上
町	12.3%※	18.3%※	34.1%※
長野県	7.3%	12.6%	24.4%